

2歳児の知能診断 チェックシート

保護者用

松本敏史
教育デザイン研究所

この「2歳児の知能診断チェックシート」は、簡単に幼児の知能面の発達診断ができるように、専門的な発達検査等をもとに教育デザイン研究所が制作いたしました。

これは、保護者の方に質問に答えていただいで採点する方式の質問シートです。

※2歳児とは2歳0カ月～2歳11カ月の幼児です。

この「知能診断質問シート」には、幼児の生活の中での具体的な行動についての質問が30問あります。

30問の質問には、その年令でほとんどの幼児ができるようになる事象に関する質問と、その年令の1才上でできるようになる事象に関する質問の両方が含まれています。

質問は、言語・常識・数量・図形・巧緻性という知能開発の5つの分野の内容を取りあげています。

保護者の方が、これらの質問について、お子さまにあてはまるかどうかを、「はい」か「いいえ」かのどちらかで答えて下さい。

30問全部回答がすみましたら、「はい」1つを1点として、合計点を出して下さい。

最後のページに「点数の診断基準」や「診断結果の活用」について書いております。

次から 30 問の質問ページです。

制限時間などはありませんのでゆっくり考えてください。

「はい」1つを1点として、最後に合計点を出して下さい。

「ママのくつ」のように
「誰の何々」と話せますか。

「赤いくつをはく」
のような3語文を話せますか。

名前を聞かれたら、
姓と名を言えますか。

集団の中で、名前を呼ばれて
返事ができますか。

いくつかの歌に節をつけて、
部分的に歌うことができますか。

絵本を一人で楽しんで見ますか。

「ママと電車に乗って〇に行った」
のような文を話せますか。

経験したことを、
母親や先生に話しますか。

自分のことを「ぼく」
「わたし」と言えますか。

「おはよう」「ごちそうさま」
などの挨拶ができますか。

体の部分の名を言われると
指差しますか。

赤、青、黄、緑などの
色とその名前がわかりますか。

友だちと順番に遊具を使う
などして、仲よく遊べますか。

じゃんけんができ、
勝ち負けがわかりますか。

積み木を並べて遊びますか。

積み木で何かの形を作って
遊びますか。

○△□などの形を
区別することができますか。

簡単な絵を見て、同じものを見つかることができますか。

「机の上（下）」のような
上下の位置がわかりますか。

2つに分かれた絵を、うまく
あわせることができますか。

大小 2 つのボールを見て、
どちらが大きいかわかり
ますか。

「2つ」の数がわかりますか。

「3つ」の数わかりますか。

1 から 10 まで順番に
数を言えますか。

1 から 10 までの数字を
読めますか。

クレヨンや鉛筆で、
ぐるぐる丸がかけますか。

円をまねしてかけますか。

画用紙いっぱい
絵をかいて色をぬれますか。

はさみで紙を切ることが
できますか。

紙にのりをつけて
貼ることができるか。

以上で質問は終わりです。合計点数を出してください。

点数の診断基準

15点 2歳児としての標準点です。

10～15点

同じ「2才」でも、2才0カ月から2才11カ月までの幅があります。幼児の月齢に応じて10点から15点ぐらいの間であれば、年齢相応の知能レベルだとお考え下さい。

15点以上

2歳児の標準以上の知能レベルです。

診断結果の活用について

このチェック表は、テストのようにお子さまを「できる子」と「できない子」に振り分けるためのものではありません。

お子さまの知能面での発達が、標準レベルに達しているかどうかを判断する一つの材料として、このチェック表の診断結果を活用していただきたいと思います。

これにより、お子さまが今「できること」と「できないこと」がはっきりしたわけですから、今回「いいえ」であった質問項目については、今後1年間ぐらいい目安に、「はい」となるように、お子さまの成長を見守って行ってあげてください。

お子さまが「できないこと」というのは、その部分での発達が遅れていてできないというより、「あまりやったことがないからできない」という場合が多いです。

お子さまが苦手なことについては、おうちの方が積極的にはたらきかけて、お子さまにいろいろなことを経験させてあげてください。

たとえば、話すことが苦手なお子さまには、おうちの方がうまく声をかけてあげながら、お子さまが話をする機会をたくさん作ってあげましょう。

また、お子さまが言いたりなかったことを、言葉を足して言い直してあげるとよいでしょう。

文字の読み書きや数のあつかいについては、ふだんの生活の中で、お子さまが少しずつ文字や数に興味を持つように、おうちの方がはたらきかけてあげることが必要です。

また、日頃からお子さまと一緒に絵本や図鑑を見る機会を
持ったり、積み木やブロックなどで遊ぶ機会を増やしてあげ
たり、はさみ・のり・クレヨン・鉛筆を使って一緒に遊んで
あげたりすることも大切です。

**最も効果的なのは、楽しい遊びの一つとして、知能開発のプ
リント教材をおうちの方と一緒にされることです。**

おうちの方と一緒に楽しく取り組むと、お子さまはいろいろな
ことをどんどんできるようになっていきます。

教育デザイン研究所が企画制作しました「**すくすくどんどん**」は
幼児の知能開発プリント教材として、国内外の多くの教室、幼稚園、
ご家庭で利用されてきました。

ホームページで教材のサンプルをダウンロードして、お試しください。

(<http://www.home-learning.jp/newsuku/index.htm>)

「2歳児の知能診断チェックシート」

著作：松本敏史（教育デザイン研究所）
大阪府南河内郡千早赤阪村小吹68-115
制作日：2018年5月29日

※著者に断りなく転載されることを禁じます。